

Eneliver Cloudが描く EV充電の新時代

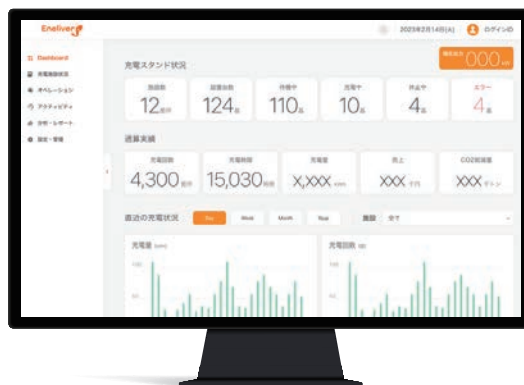
運営の簡素化と収益性の向上

Point
01

OCPP1.6J、OCPP2.0.1に対応
Eneliver製充電器はもちろん、
他社製・普通・急速のあらゆる充電器を一括管理

Point
02

事業者様向けにSaaS/API/ホワイトラベルでの提供も可能



遠隔管理・監視



現場に行かずともPCや
スマホから遠隔管理

デジタル課金



料金設定や
クーポン発行が可能

出力制御



充電最大出力を
柔軟に設定

セキュリティ対策



施設事情に合わせて
セキュリティ対策

スケジュール機能



充電時間を予約し
自動で充電開始

データ分析



充電器ごとに
利用データを解析

車両管理



EV社有車の利用状況や
導入効果を可視化

EMS



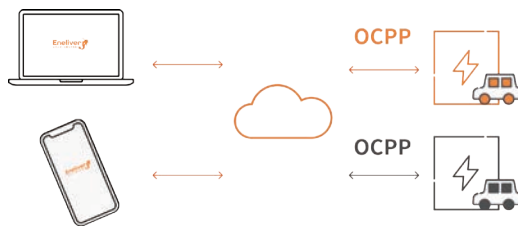
エネルギー消費を最適化し
電気代を削減

Eneliverクラウドでできること

遠隔管理・監視

現場に行かずともPCやスマホから管理ができます

Eneliver CloudはOCPPという世界標準のEV充電サービス
通信プロトコルに対応しており、充電器と遠隔操作できます。
設置場所、急速/普通充電器、メーカーにとらわれず、長期的な
充電マネジメントが可能です。



OCPP対応の充電器
であれば
メーカー、
急速/普通に限らず
連携できます

デジタル課金

料金設定やクーポン機能もスマートに

Eneliverのデジタル課金では、追加の課金デバイスなど一切
不要です。ドライバー様はアプリだけでクレジット決済ができ、
オーナー様はクラウド上で曜日・時間に応じて料金設定ができ
ます。また集客のためのクーポンも発行できます。施設の特徴
に合わせて柔軟に充電サービスを設計しましょう。



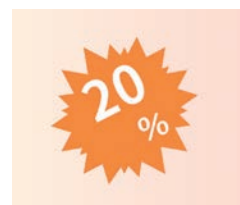
アプリのみで決済完了

アプリとQRコードのみでカード
決済が完了するため、課金デバイ
スを新たに設置する必要がありま
せん。設置コストやスペースの有
効活用にも貢献します。



柔軟な料金設定

曜日・時間に応じて料金を設定で
きます。1円単位で設定することが
できるので、混雑具合に応じて工
夫ができます。



クーポン

クーポンを発行して集客にも活用
できます。発行したクーポンコー
ドをお知らせして施設に来てもら
いましょう。

出力制御

充電最大出力を柔軟に設定できます

契約電気容量に応じて、停電や電気料金の高騰を防ぐべく、
出力を制御する機能です。あらかじめ決めた出力を上回らない
ように設定できます。

出力制御なし

電気容量をオーバーし、停電や電気料金
の増加を引き起こす可能性があります。



電気容量 50A < over 総出力 90A

出力制御あり

電気容量の余裕に合わせて、均等充電or優先充電を自由に設
定可能。



電気容量 50A 総出力 45A

Eneliver アプリ

／ 簡単・便利・無料 ／



業界初！※

公共充電器も、自宅のマイ充電器管理にも使える万能EV充電アプリ

※弊社調べ。2023年3月時点

Point
01

マッピング～充電開始までスマート

- ✓ 日本全国のEV充電スポット、満空情報・機種・料金も検索できる
- ✓ アプリからQRコードをスキャンして充電開始と簡単操作

Point
02

充電中～充電後の機能も充実

- ✓ 充電状況がタイムリーに確認できる
- ✓ 充電完了時は通知で受け取ることもできる
- ✓ 充電履歴をダッシュボードで確認できる

Point
03

マイホーム機能

- ✓ 自宅の専用充電器を登録して遠隔管理できる
- ✓ 電気代が安い時間帯に充電を予約して電気代を節約
- ✓ 近隣住民向け公共シェアにより収益獲得（開発中）

Eneliver EMS (エネルギーマネジメントシステム Energy Management System)



エネルギー消費を最適化し、電気代を削減します

EV 充電器や V2H に加え、施設の消費電力、太陽光発電、蓄電池の稼働状況をリアルタイムで「見える化」します。さらにスマート充放電モードを利用することで、過去の使用データや天気予報、電力市場価格などをもとに、AI とアルゴリズムが EV 車両と蓄電池の充放電を最適に「自動制御」します。

Point
01

電力会社や機器メーカーに縛られずに複数のエネルギー機器を一元管理

Point
02

デマンド目標値の動的制御や電力市場価格にも連動

電気代を削減する3つの機能

①太陽光発電の自家消費を最大化

太陽光で発電した電力を無駄なく活用します。昼間に余った電力を蓄電池や EV に充電し、夜間は蓄電池や V2H を使って蓄えた電力を建物に供給することで、電力会社からの買電量を減らします。

②デマンド制御によるピークカット

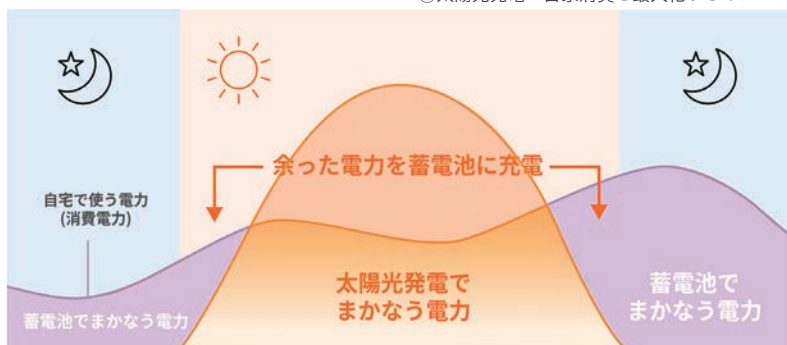
施設の電力需要が目標値に近づくと、EV 充電を制御して、蓄電池からの電力供給へ切り替えます。これにより、電力需要のピークを抑え、契約電力と基本料金を削減します。ダイナミックロードバランス機能で、EV 充電のデマンド目標値を動的に調整します。また、電気設備の増強費用も最小限にできます。

③電力価格の変化に連動した充放電タイムシフト※

電力価格の安い時間帯に蓄電池や EV を充電し、高い時間帯には蓄えた電力を使用することで従量料金を削減できます。EV ユーザーは翌日の出発時間を登録するだけで、最適な時間帯に自動で充放電が行われるため、充電し忘れる心配もありません。

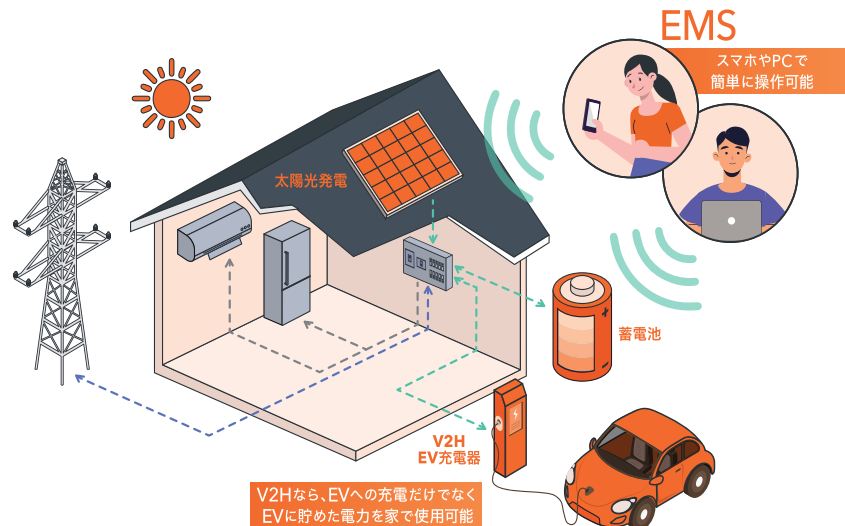
※市場価格連動型(30分ごとに電力価格が変動)や時間帯別プランを利用しているユーザー向けの機能です

①太陽光発電の自家消費を最大化するイメージ



- EV充電サービスで培ったエネルギー事業の知見と、独自開発の高機能EMSを活かし、太陽光パネルや蓄電池の導入サービスを開始しました
- 設置から保守、補助金申請までをワンストップで対応
- 電気代の削減と非常用電源の確保、快適なエネルギー&モビリティライフを実現します

Eneliverの脱炭素ソリューション



POINT 01

エネルギーマネジメントシステム

最先端で多機能なEMS

発電量、充電量、電力消費量をEV充電も含め、見える化・自動で最適化します。電力市場価格とも連動します

POINT 02

初期費用 ¥0

総コストを抑える購入プランもあります

太陽光パネル、蓄電池、V2H・EV充電器及びEMSを、全て合わせて初期費用0円から導入できます

POINT 03

月額維持費以上の電気代コストメリット

月額サービス費用は電気代コスト試算の上、メリットが出る水準でお見積りさせていただきます

POINT 04

安心の最大15年保証・災害保険

保守・メンテナンスもお任せください
万が一の災害補償もご安心ください

対象施設と導入メリット

house 戸建住宅

- ✓ 毎月の電気代削減
- ✓ 自宅でEV充電
- ✓ 非常用電源確保
- ✓ 物件の不動産価値向上



apartment 集合住宅

- ✓ 共用部の電気代軽減
- ✓ EVユーザー入居で稼働率UP
- ✓ 非常用電源確保
- ✓ 物件の不動産価値向上



office 事業所

- ✓ 電気代/固定費の削減
- ✓ 社有車のEV化効果を最大化
- ✓ 非常用電源確保
- ✓ 企業イメージ・投資家対策に

